

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価		
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項	
第2	大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置	中期	A	4	B	102	C	0	D	0	II	
		中期	A	4	B	102	C	0	D	0		
1	教育に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	43	C	0	D	0	II	
		中期	A	0	B	43	C	0	D	0		
(1)	入学者受入方針及び入試制度に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	7	C	0	D	0	II	アドミッション・ポリシーを公表し、大学説明会やオープンキャンパス等で受験者に対し広く周知したこと、県内医療を担う優れた人材を確保するため、入試区分毎に、入試結果と入学後の成績、卒業後の進路を調査・分析し、改善を図ったことは評価できる。
		中期	A	0	B	7	C	0	D	0		
(2)	教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	28	C	0	D	0	II	保健師国家試験の合格率については、29年度を除いて数値目標を達成し、医師国家試験及び看護師国家試験の合格率については、目標に及ばなかった年度はあるもののいずれも全国平均を上回る高い数値を得たことは評価できる。 医学部及び看護学部においては、学生自らによる実践的で主体的な教育プログラム、地域医療に貢献する医療育成のための教育プログラム、医療現場におけるコミュニケーション能力を培う教育プログラムを行った。また、会津医療センターにおいては、教育研究の一端を担い、地域志向型カリキュラムの充実を図るため、医学部生及び看護学部生の実習を行ったことは評価できる。
		中期	A	0	B	28	C	0	D	0		
(3)	教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	4	C	0	D	0	II	医学部において、定員増に応じた教育体制を整備するとともに、国際基準や医学教育認証評価制度に対応したカリキュラムを検討し、充実を図ってきた。 教育活動の活性化や改善のため、教員による自己点検・自己評価や学生による授業評価、FD活動など継続して行った。
		中期	A	0	B	4	C	0	D	0		
(4)	学生への支援に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	4	C	0	D	0	II	医学部の担任制及びファカルティアドバイザー制、看護学部の学生生活アドバイザー等の配置など学生が相談しやすい環境を整え、個々の学生の問題を把握し対応を行ってきたことは評価できる。
		中期	A	0	B	4	C	0	D	0		

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価		
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項	
2	研究に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	9	C	0	D	0	II	
		中期	A	0	B	9	C	0	D	0		
		概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。										
(1)	研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	6	C	0	D	0	II	基礎と臨床の橋渡しを実現し、独創的なプロジェクト創出を促進するため、戦略的学内連携研究推進事業を立ち上げて研究支援を行ってきたこと、福島医薬品開発支援拠点化事業において、研究開発業務委託先の一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム(JBIC)への参画企業と成果物等提供契約を締結してきたことなど、研究が進展していることは評価できる。
		中期	A	0	B	6	C	0	D	0		
		<ul style="list-style-type: none"> ・福島医薬品開発支援拠点化事業の各種成果情報の各講座や企業への提供や、戦略的学内連携研究推進事業により本学独自の研究プロジェクトに対して研究支援を実施した。 ・各種セミナーによって優れた学内研究プロジェクトの創出を促すとともに、平成27年度には、臨床と基礎の橋渡しを実現するための事業として新たに「戦略的学内連携研究推進事業」を立ち上げた。 ・学内研究者が直接相談できる英文校正支援サービス従事職員の配置などによる英語論文の作成支援環境の充実や、文部科学省科学研究費助成事業等の採択件数を増加させるため、前年度獲得者による講演会や申請内容の事前チェックなどに取り組んだ。 										
(2)	研究の実施体制等に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	3	C	0	D	0	II	研究の国際化を推進するため、英語論文の作成支援環境の充実に取り組んだ結果、英語論文数が増加したこと、学内の臨床研究と治験を一体的に推進していく体制を整備したことは評価できる。
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0		
		<ul style="list-style-type: none"> ・研究の推進・支援体制を有効に機能させるため、医療研究推進戦略本部や医療研究推進センターを設置し、研究支援体制を構築したほか、研究ポータルサイトの活用や英文校正サービスの充実により研究の推進・支援に取り組んだ。 ・支援を必要とする教員に研究支援員を適正に配置するとともに、新たな人材の採用、外部研修会への参加など育成にも取り組んだ。 ・知的財産管理オフィスと産学官連携推進本部の機能を統合した医療研究推進戦略本部において知的財産の管理運用を行う体制を構築した。 ・倫理講習会を開催し、各種倫理指針の改正ポイントや指針遵守の必要性、申請時の留意事項などを取り上げ、研究者及び研究支援スタッフの教育に努めた。 										
3	地域貢献に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	16	C	0	D	0	II	
		中期	A	1	B	16	C	0	D	0		
		概ね計画どおり実施し、ほぼ期待どおりの成果をあげた。										
(1)	地域社会等との連携・協力に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	8	C	0	D	0	II	県民向けの公開講座や講演会を開催するほか、県内の各種教育機関からの依頼による講師派遣等に積極的に取り組んだこと、会津医療センターにおいても、出前講座や健康教室など地域の健康増進を支援する活動活動を積極的に実施したことは評価できる。
		中期	A	0	B	8	C	0	D	0		
		<p>県民を対象とした公開講座や講演会の開催により、地域住民の保健・医療に関する知識の向上に貢献する活動を行うとともに、各種教育機関の要望に応じて、実習等を受託事業として実施することで教育活動に貢献した。また、会津医療センターが開催する出前講座、健康教室、糖尿病教室は、年々開催回数・参加人数ともに増加し、地域住民にも取組が浸透してきている。</p>										
(2)	地域医療等の支援に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	6	C	0	D	0	II	地域医療支援について、県内医療機関や市町村からの医師派遣要請に対し、地域医療等支援教員の派遣を行ってきたこと、会津医療センターにおいても、へき地医療拠点センター病院として積極的な診療応援や宿直応援などにより、会津地域全体の医療向上に貢献したことは評価できる。
		中期	A	1	B	6	C	0	D	0		
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療支援本部において、医療機関からの医師派遣依頼の内容を分析し、地域の実情など地域バランスを考慮して、支援教員をへき地医療の拠点病院や公的医療機関、地域医療や救急・災害・周産期・感染症等の分野に貢献していると認められる民間病院等へ適切に配置したほか、非常勤による医師派遣に積極的に取り組み県内医療の確保に貢献した。 ・保健医療従事者養成施設の新設に向けて県が行う検討、事業構築等に積極的に参画した。 										
(3)	地域産業の振興に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II	研究シーズ集の発行と企業等とのマッチング活動の推進、ふくしま国際医療科学センター完成に伴う見学の受入れや病院見学会による企業ニーズの把握とマッチング、福島医薬品開発支援拠点化事業における研究成果報告会などの実施により、共同研究及び受託研究が推進したことは評価できる。
		中期	A	0	B	2	C	0	D	0		
		<ul style="list-style-type: none"> ・研究シーズ集の発行、病院見学会の開催や福島医薬品開発支援拠点化事業における研究成果報告会を開催することにより、共同研究・受託研究が着実に推進された。 ・会津医療センターにおいて、コンプライアンス研修会や倫理講習会を開催することにより全職員の意識啓発を行い、外部資金についても概ね目標水準近くまで獲得し、研究を推進することができている。 										

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価		
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項	
4	国際交流に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	3	C	0	D	0	II	
		中期	概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
(1)	国際交流の推進に関する目標を達成するための措置	中期	A	1	B	3	C	0	D	0	II	武漢大学に加え、ベラルーシ医科大学、ゴメリ医科大学、マウントサイナイ医科大学及びベトナムホーチミン市医科薬科大学と国際学術交流協定を締結し、教員や学生による相互交流を行ってきたことは評価できる。
		中期	<ul style="list-style-type: none"> IAEA、WHO、ICRPなどの国際機関と連携した国際学術会議やシンポジウム等を開催し、本学及び福島県の現状について世界に情報発信を行った。 武漢大学に加え、平成25年度にベラルーシ医科大学、ゴメリ医科大学、マウントサイナイ医科大学との間で学術交流協定を締結し、平成28年度にはベトナムホーチミン市医科薬科大学との交流協定を締結した。また、マウントサイナイ医科大学からの学生受け入れに当たっては、本学研究者及び学生と共同研究を実施した。 									
5	大学附属病院に関する目標を達成するための措置	中期	A	2	B	31	C	0	D	0	II	
		中期	概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
(1)	附属病院に関する目標を達成するための措置	中期	A	2	B	20	C	0	D	0	II	第三次救急医療機関として、特殊疾患に対応できる人材の育成やドクターヘリの効果的運用のための関係機関との連携強化を図ってきたことに加え、新病棟に救命救急センターを整備し、高度救命救急センターとして機能強化を図ったことは評価できる。また、安全な医療環境を提供するための職員研修会や抗菌薬適正使用促進の徹底などを行ってきたことは評価できる。なお、平均在院日数の短縮は図れているが、一般病床利用率がわずかに目標に達成していない。
		中期	<ul style="list-style-type: none"> 関係医療機関等と協力・連携し、臨床研修環境の改善や医療人としての資質等向上のためのレジデントスキルアップセミナー等を開催するとともに、新専門医制度に対応した研修プログラムの策定等、運用体制の整備を図った。 年2名の認定看護師養成を計画的に実施したほか、看護実践、教育、研究の向上に取り組んだ。 特殊疾患患者に対する救命医療を行う高度救命救急センター機能の維持強化を図るため、人材育成に努めるとともに、ドクターヘリの効果的な運用を実施した。 大学の臨床研究プロジェクトとの連携及び治験センターの運用を通して先進的医療の開発に貢献するため、研修会等への参加による能力向上、臨床研究・治験の支援を推進していくための組織体制整備を行った。 関係所属との頻回な調整に基づき適切な移行計画を策定するとともに運営体制を構築し、備品整備も計画的に進めたことにより、平成28年12月に無事に新病棟を稼働させることができた。 職種・部門を越えた全職員向けの研修会を年4回開催し、また、当日参加できなかった者に対し伝達研修を行い、ほぼ全員が受講した。加えて、eラーニング研修も行うことで医療安全教育を強化した。また、医師、看護師など職位・職種・専門分野別の研修会を増やし、年19種類30回開催するとともに、研修医向けの安全管理研修に演習等を追加するなどの取組を行った。 外来の混雑緩和への取組、入院待ち患者の緩和・解消のためのPFMシステムの導入のほかにも、患者サービスのため、各種相談に応じるとともに院内多職種と連携し退院支援を実施した。 県内の医療機関との連携を推進し、紹介患者を増やしており、紹介率は平成25年度以降60%を超えて推移している。 特定機能病院として承認要件を満たし、求められる役割を果たすため、診療科・中央診療施設の組織体制の強化や人員増を図った。 									
(2)	会津医療センターに関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	11	C	0	D	0	II	会津地域医療の中核を担い、地域完結型医療を提供するため、平成25年5月に会津医療センターを開設した。開設に向け、県と大学が連携しながら開設準備を進めた結果、開設後の運営体制を円滑に移行したことは評価できる。開設後は、臨床研修の教育及び体制整備に取り組んだ結果マッチング率が高い水準となっていること、病院機能評価の認定、看護専門外来の開設、紹介率・逆紹介率の上昇などについて評価できる。
		中期	<ul style="list-style-type: none"> 県と大学が連携して準備を進め、平成25年度に会津医療センターを開設し、運営体制の円滑な移行がなされた。 臨床研修の体制を整備し、初期研修医、専攻医を受け入れるとともに、鍼灸研修生についても実習内容の改善を行いながら研修を実施した。 看護専門外来を開設し、専門・認定看護師により、多数の患者へ対応した。 病院機能評価の認定を受け、緩和ケア病棟入院料の算定を開始した。 地域の医療機関との連携強化により、紹介率・逆紹介率の向上に取り組み年々数値を向上させた。 ニュースレターによる広報の強化、経営支援システムによる経営改善、適切な人事配置、各職種の研修・学会参加支援による能力の向上、保険診療ルールの周知徹底など、機能強化を図ってきた。 									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価		
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項	
第3	東日本大震災等の復興支援に関する目標を達成するためにとるべき措置	中期	A	0	B	16	C	0	D	0	II	
		中期	A	0	B	16	C	0	D	0		
1	県民の健康の保持・増進に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	5	C	0	D	0	II	受診機会の確保や広報活動、調査結果に基づく支援の実施など県民健康調査の推進に取り組んだこと、国内外の関係機関との連携やホームページなどにより、県民健康調査の成果を中心に原発事故後の県民の健康に関する情報を広く発信したことは評価できる。
		中期	A	0	B	5	C	0	D	0		
2	復興支援に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	3	C	0	D	0	II	教育では、教育プログラムにおいて被災地などへの実地研修や避難住民への健康相談を実施したこと、放射線と健康に関するリスクコミュニケーション能力を育む教育プログラムを取り入れた。また、研究では、福島医薬品開発拠点化事業における検体等サンプルや解析データの取得が進んだことについて評価できる。
		中期	A	0	B	3	C	0	D	0		
3	放射線医学の教育研究等に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	7	C	0	D	0	II	放射線医学に関する教育、研究及び医療拠点となるふくしま国際医療科学センターの整備工事がすべて完了したこと、放射線医学、災害医療、被ばく医療について、教育プログラムの実施、広島大学及び長崎大学との連携を図ってきたことについて評価できる。
		中期	A	0	B	7	C	0	D	0		
4	復興支援の連携・協力に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	1	C	0	D	0	II	PET-MRIやサイクロトロンを活用し、最先端の研究を実施するため、放射線医学総合研究所と機器操作面での連携を強めるとともに、オールジャパン体制のもと核医学研究推進体制を構築するため、核医学治療国際シンポジウムを開催したことは評価できる。
		中期	A	0	B	1	C	0	D	0		
第4	管理運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	中期	A	0	B	32	C	0	D	0	II	
		中期	A	0	B	32	C	0	D	0		
1	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	10	C	0	D	0	II	
		中期	A	0	B	10	C	0	D	0		
(1)	組織運営の改善に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	9	C	0	D	0	II	震災の経験を踏まえた大学の使命と今後の方向性を明確にし、学生及び教職員の意識を高めるため、「ビジョン2014」を策定して学生や教職員としての自覚を促してきたことや理事長と職員間における意見交換などにより、大学への帰属意識を高めてきたことは評価できる。
		中期	A	0	B	9	C	0	D	0		
		中期	A	0	B	9	C	0	D	0		
		中期	A	0	B	9	C	0	D	0		

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価			
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項		
	(2)	事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	1	C	0	D	0	II	職員の業務量増大に対応するため、事務効率化や実施体制見直しを図ってきたこと、研究者の利便性向上のため業務改善などを行ってきたことについて評価できる。
			中期	A	0	B	1	C	0	D	0		
			中期	<ul style="list-style-type: none"> ・決算事務円滑化のため、決算事務マニュアルを作成した。 ・各研究者の利便性を向上する観点から、研究開始手続書類管理事務について見直しを行い、ホームページ上のポータルサイトに新たに項目を新設し、研究者がワンストップで各種申請書類を確認できるよう業務の見直しを行った。 ・各種委員会への申請状況の一覧表を所属ごとに新たに作成し、一目で申請状況を確認できるよう効率化を図るとともに、研究開始の手続漏れの防止策を講じた。 ・研究に係る針刺事故への対応マニュアルを新たに整備し、安心して研究できる環境の整備を行った。 ・年度発注見通しの公表や入札事務の分離など、入札制度見直し実行計画に掲げた各見直し項目について適切に実施した。 									
2		財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	3	C	0	D	0	II	
			中期	A	0	B	3	C	0	D	0		
			中期	概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
	(1)	外部研究資金等の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II	科学研究費助成事業の応募に向けた説明会の開催や応募書類の事前審査の実施などの取組により、応募件数は増加し、科学研究費の採択件数が年々増加してきたことは評価できる。
			中期	A	0	B	2	C	0	D	0		
			中期	<ul style="list-style-type: none"> ・科研費に応募しなかった助手以上の教員に対する指導を所属長に依頼するとともに、科研費にエントリーしながら未提出の研究者に対して促した。 ・科学研究費助成事業の応募に向けた説明会を開催し、また、科研費の採択数増加に寄与するよう、公募時においては、本学名誉教授による応募書類の事前審査を実施した。 ・競争的資金獲得のための各種研究募集の情報を随時、学内電子掲示板に掲載して各所属へ周知を行い、競争的資金の募集情報の提供を行った。 ・各種団体からの研究助成金及び奨学寄附金等についての受入ルールの策定、倫理委員会の審査対象拡大や審査期間の見直しを行い、円滑な外部資金獲得のための体制整備を行った。 									
	(2)	経費の抑制に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	1	C	0	D	0	II	光熱水費の節減のため、学内や外来者に向けて省エネルギー対策の意識啓発を行ったことなどは評価できる。
			中期	A	0	B	1	C	0	D	0		
			中期	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー推進委員会の開催、「夏季および冬期間における省エネルギー対策の徹底について」の学内周知、外来者向けのチラシ掲示により、光熱水費の節減への意識啓発を行った。 ・光熱水費節減のため、電力を主とするターボ冷凍機と蒸気(A重油・ガス)を主とする吸収式冷凍機の効率的な運用を行った。 ・復興関連業務や入学定員増に伴う業務、新医療系学部設置準備などの新たな業務へ対応するため人員体制を強化した。 									
3		自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	7	C	0	D	0	II	
			中期	A	0	B	7	C	0	D	0		
			中期	概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。									
	(1)	評価の充実に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	5	C	0	D	0	II	教員による自己評価・点検の実施及びその取組推進、所属による自己評価結果に対する評価室の点検や再評価、それぞれの評価結果をもとにフォローアップを行ってきたことは評価できる。
			中期	A	0	B	5	C	0	D	0		
			中期	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の年度計画に基づく業務実績の評価、教員の自己点検・評価を実施した。 ・平成27年度においては、平成29年度の大学機関別認証評価受審に向けて、学内における自己評価実施体制の整備を行った。 ・県公立大学法人評価委員会による毎年度の業務実績の評価結果について、役員会に報告するとともに、関係各課に通知し、フォローアップを促した。 ・平成24年度に「医学部教員(助教、助手)を任期の定めのない教員に移行する際の手続き」を策定し、運用を開始した。 									
	(2)	情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II	研究成果や公開講座の開催情報などの講座の活動状況について、ホームページで確認できるよう随時掲載情報の更新を行ってきたこと、震災後の取組を広く県民に発信するための広報誌の作成・配付などを行ってきたことは評価できる。
			中期	A	0	B	2	C	0	D	0		
			中期	<ul style="list-style-type: none"> ・県政記者クラブへの投げ込みを随時行うとともに、定期的にメールマガジンを発行し、マスコミへの情報提供を行った。 ・研究成果や学会等表彰情報を大学ホームページ等に掲載したほか、研究連携セミナーを開催し、広報活動に取り組んだ。また、寄附講座の成果報告会を開催し、学内外への情報発信に取り組んだ。 ・医学部の卒後進路状況や看護学研究科の新設専門領域の追加などホームページ掲載内容の充実を図るとともに、掲載情報の更新を行った。 									

2 項目別評価 総括表

評価項目		公立大学法人自己評価								評価委員会評価		
		計画達成の状況								項目別評価	評価における特記事項	
4	その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	中期	A	0	B	12	C	0	D	0	II	
		中期	A	0	B	12	C	0	D	0		
		概ね計画どおり実施し、一定の成果をあげた。										
(1)	法令遵守に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II	コンプライアンスを徹底させるため、教職員に対する職場研修会や個別面談の実施、研究活動に係るコンプライアンス研修会や講習会等の実施、学生に対してはオリエンテーションにおいて注意喚起を行うなどしたことは評価できる。
		中期	A	0	B	2	C	0	D	0		
		<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員研修において、コンプライアンスの徹底について研修を行い、周知を図った。毎年各所属コンプライアンス委員会の活動内容の報告を求めた。 ・各種指針や法令の遵守に係るコンプライアンス講習会、科学研究費に係る説明会や倫理講習会等を開催し、学内教職員に対してコンプライアンスの徹底を図った。 ・学生に対しては、年度当初の学年オリエンテーションにおいて交通事故や懲戒処分などについて説明を行い、コンプライアンスの徹底のための意識啓発を図った。 ・ふくしま国際医療科学センターの運営に当たり必要となる、関係法令(放射線障害防止法、医療法等)に基づく申請、届出、現地検査等について、各センター・部門の事務局と緊密に連携し対応した。 										
(2)	施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	4	C	0	D	0	II	震災で半壊した学生寮の再整備を行ったことや、附属病院のユニバーサルデザインに配慮したエレベーター等の施設改修を行ってきたことは評価できる。
		中期	A	0	B	4	C	0	D	0		
		<ul style="list-style-type: none"> ・「震災・放射線関連論文・著作集」サイトの開設、Twitterによる情報発信の開始、電子ブックの受入を実施し、学術情報センターの充実を図った。また利用者の要望に基づいた利用時間の見直し、データベース講習会と文献検索講習会などを行った。 ・ユニバーサルデザインに配慮したエレベーター及びトイレの改修を実施した。また計画的に既設給水設備、既設防災設備の改修を実施した。 										
(3)	健康管理・安全管理に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	4	C	0	D	0	II	大学健康管理センターによる学生に対する健康管理の取組や、「大地震対策マニュアル(ポケット版)」により教職員・学生に災害時対応を周知したことは評価できる。
		中期	A	0	B	4	C	0	D	0		
		<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めのオリエンテーションやガイダンス時に、大学健康管理センターのしおりを配布し、直接、学生に対して周知を行った。また、大学健康管理センターだよりを、教務事務システムや大学ホームページに掲載することにより、学生に対し健康管理情報の提供を行った。26年度からはメンタルヘルス対策のため、臨床心理士の学生相談枠を毎週1回設けた。併せて、学生相談(こころの相談)に関する広報を毎月1回メールにて配信した。 ・災害対策マニュアル等をデスクネットに掲載するとともに、「大地震対策マニュアル(ポケット版)」を配布した。また託児所、看護師宿舎、病院及び学部の消防・防災訓練を実施し、災害対策マニュアルに基づく対応手順を確認した。 ・国、地方自治体主催の防災訓練や、DMAT東北ブロック参集訓練等に、ドクターヘリ、医師・看護師等が参加した。 ・県災害対策課及び福島市危機管理室と連携し、福島市が指定している緊急避難場所の「医科大学体育館、体育館周辺駐車場」を災害時に備え適正に管理してきた。27年度には、AEDを設置した。 										
(4)	情報通信基盤の整備・活用に関する目標を達成するための措置	中期	A	0	B	2	C	0	D	0	II	大学の通信基盤の整備を進めるとともに、教職員・学生に対する情報セキュリティ教育の実施を行ってきたことは評価できる。
		中期	A	0	B	2	C	0	D	0		
		<ul style="list-style-type: none"> ・全学無線LANの構築、サーバ機器の更新を行い、大学の通信基盤の整備を進め、Wi-Fiを活用したグループウェアや電子メールなどのサービスの提供を行った。また、国立情報学研究所の学術認証フェデレーション「学認」への参加に着手した。 ・情報セキュリティハンドブックの改訂や情報セキュリティ専用サイトの開設を通じ、教職員・学生に情報セキュリティの重要性を説明してきた。また、オリエンテーションや基礎上級授業などの折に情報セキュリティ教育を実施した。 										